元々、木津村に「熊谷」「今井」「有田」という小集落があり、昭和25 年町村合併後に木津連合区の「奥区」という名称であったものが区民協議の決定でいつのころからか加茂神社に由来して「加茂川」という地区名称に変わったとのことです。浜詰海岸に流れ出る木津川はこの地区の熊谷という谷の奥が源流になっています。

現在の戸数は５０戸足らずで昔は農業中心であり、後に各家の主婦を中心に、織物業（賃機）に従事しました。農地もそんなに広くなく、農業を営みながら、織物業、勤務者（サラリーマン）になった者が大半であります。

地区を上流とする木津川は過去に、時として増水を引き起こし下流の岡田、中立地区に氾濫をおこしたものと云われます。現在は河川改修も整備され氾濫はかなり抑えることが出来ました。

加茂川地区の紹介

加茂神社由来

長久四年（一〇四三）に山城國上賀茂神社より御分霊を受け創立、祭神は別雷神を祭り丹後における由緒ある神社の一つであります。

中世に於ては相当栄え伏見天皇の正応元年（一二八八）における丹後田数帳には、木津え庄加茂社領として五十二町歩余の田畑が領有されていた事が記されています。

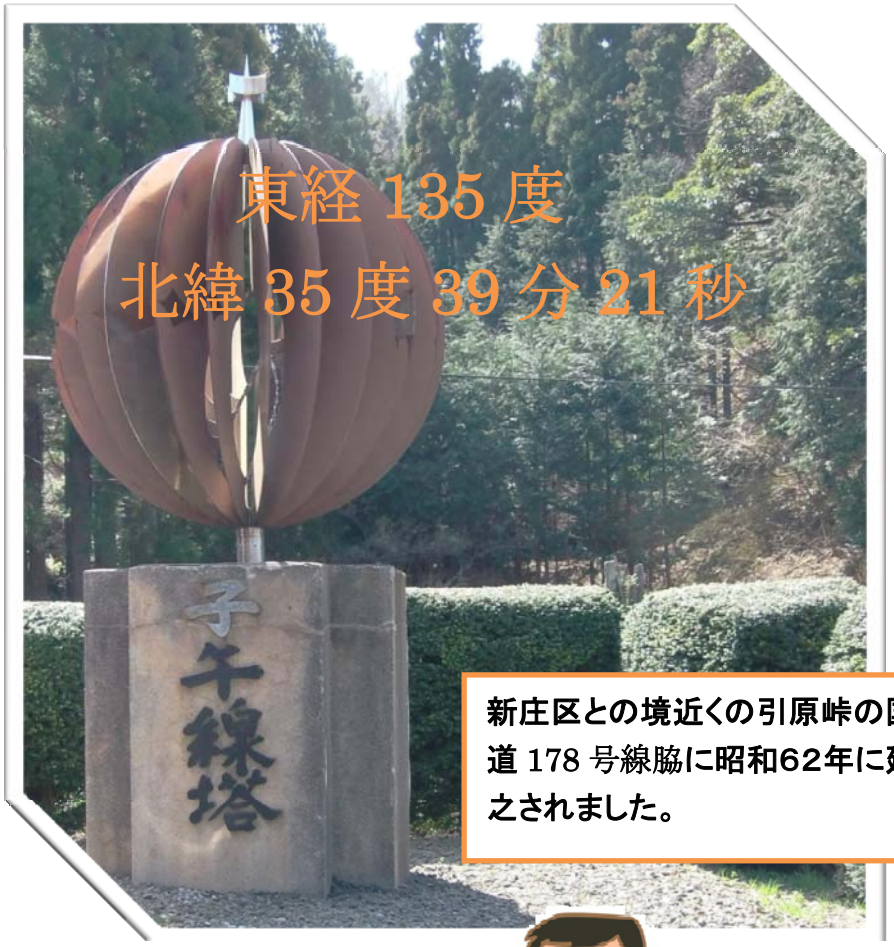
なお、この歴史を物語るものとして、文化財の指定を受けた鰐口が現存しております。

神　社　延喜式内　加茂神社
祭　神　別雷神
境内末社　八雷神　稲荷神社
　　小谷神社　大川神社
　　愛宕神社　戒徳神社

山屋台

雅楽者の練習風景
秋祭り

子供たちによる山屋台の繰り出し



新庄区との境近くの引原峠の国道 178 号線脇に昭和62年に建之されました。

区長さんのコメント

毎年 10 月第 2 日曜日には、にぎやかな御輿巡行もあり、前夜祭及び当日には山屋台が繰り出し、6 人の雅楽者が奏でる優雅な演奏と共に御輿が地区内を練り歩きます。ホームページをご覧の皆様、是非一度お越しください。

加茂川地区を南西方より望む
写真の右方の山（引原峠）を越すと
新庄、下岡地区へと続きます。

小さな三つの集落群が集まって「加茂川」という地区を構成しています。